

令和５年度 電子アンケート設問

ごみ減量・リサイクルについて（回答数２９８）

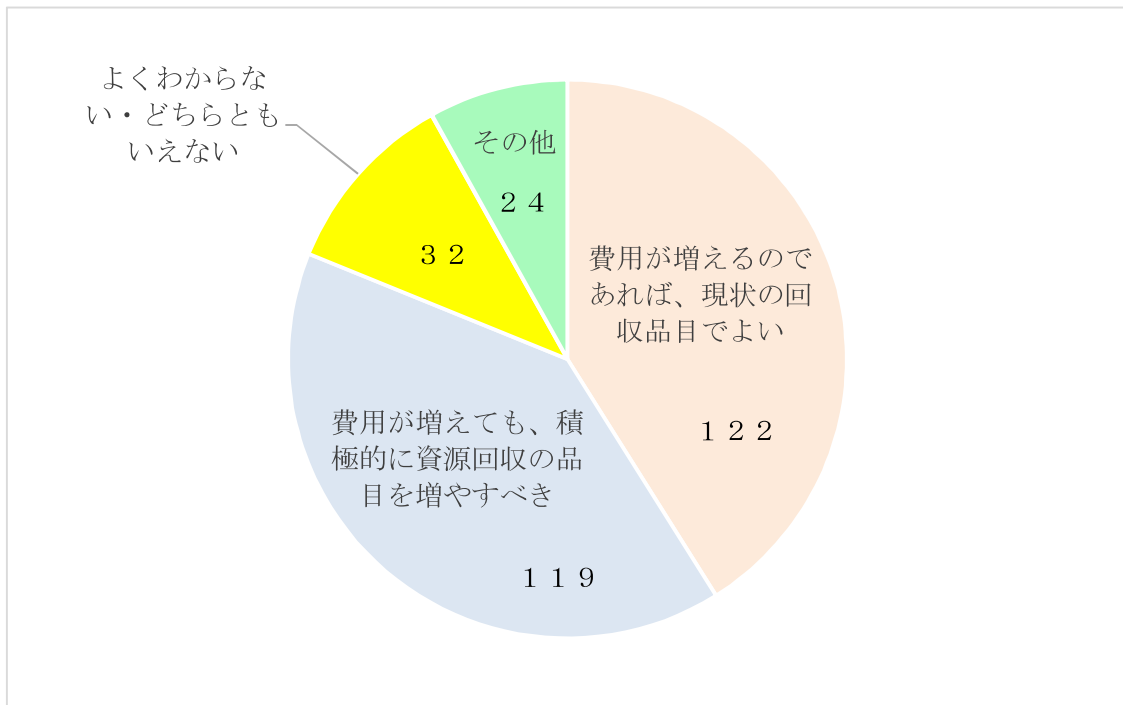
【電子アンケート目的】

品川区では、ごみの適正収集による生活環境の維持・保全および公衆衛生の向上を図り、資源については有効利用とごみ減量を目的として回収しております。

本アンケート結果を参考とし、今後のごみの発生抑制、再利用の促進および廃棄物の適正処理に係る施策に取り組んでまいります。

◆設問１

ごみ減量のためには、資源回収の品目を増やすことが有効である一方、その分の費用も増えます。費用が増えることについてどう思いますか。



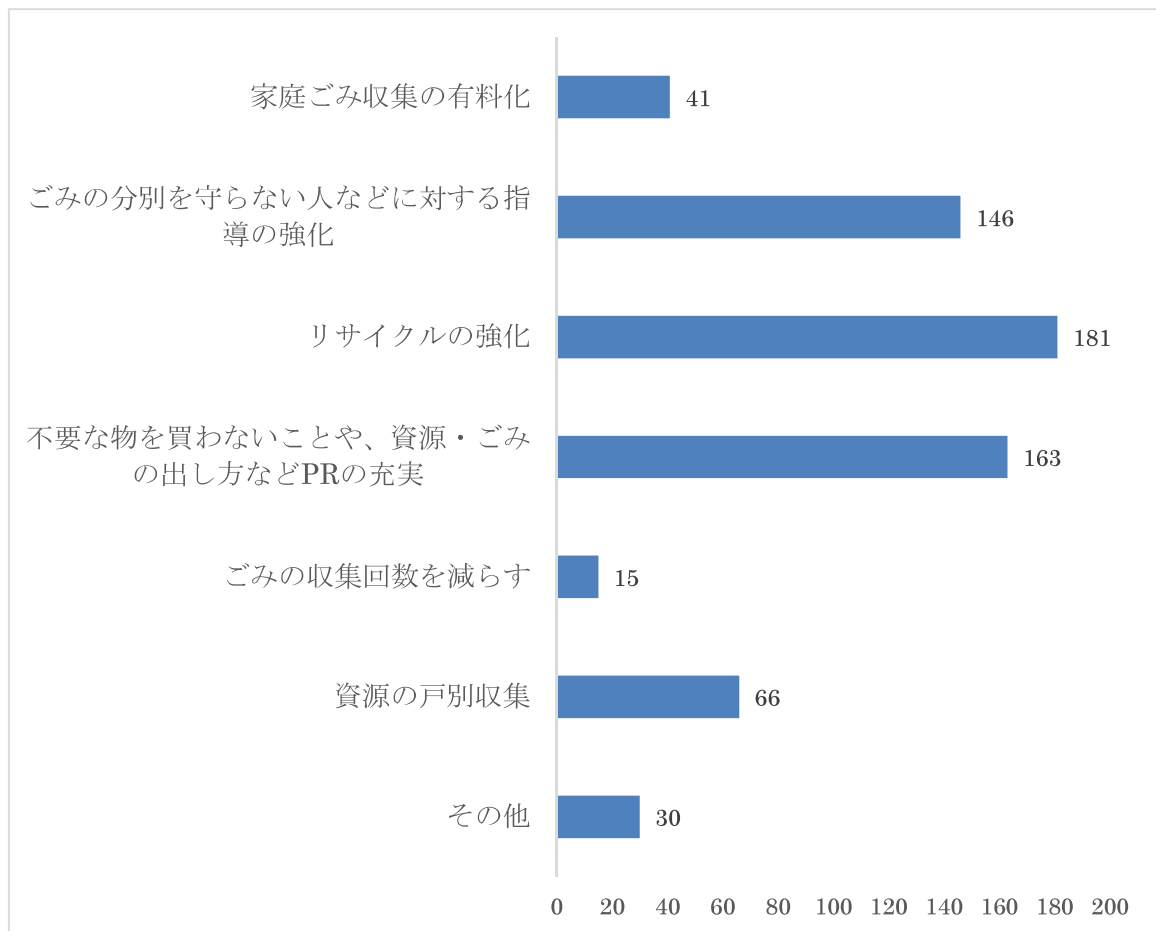
費用が増えることについてどう思うか聞いたところ、「費用が増えるのであれば、現状の回収品目でよい」１２２人、「費用が増えても、積極的に資源回収の品目を増やすべき」１１９人、「よくわからない・どちらともいえない」３２人、「その他」２４人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

- ・品目が増えても費用が増えない方策を検討すべき
- ・その資源回収の品目が本当に資源としてリサイクルできるものであるのならば、品目を増やしても良い
- ・費用が増えるのは構わないが、如何にゴミを出す側の人の手間を減らせるかがポイント

◆設問 2

以下のうち、今後の清掃・リサイクル事業でどのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）



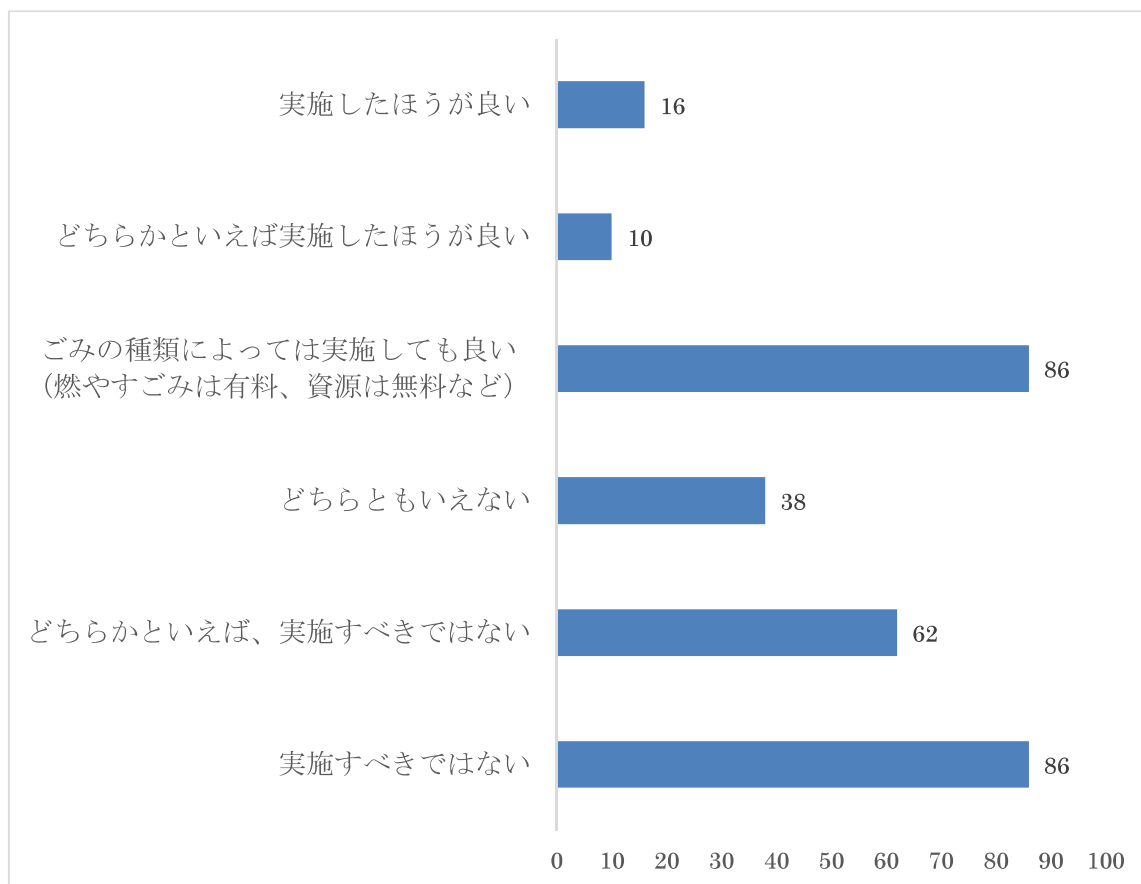
今後の清掃・リサイクル事業でどのような取り組みが必要かを聞いたところ、とくに多かったのが「リサイクルの強化」181人、「不要な物を買わないことや、資源・ごみの出し方などPRの充実」163人、「ごみの分別を守らない人などに対する指導の強化」146人、「資源の戸別収集」66人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

- ・販売店に販売物に含まれるゴミの回収を義務付け、ごみの発生を減らすよう促す
- ・指定ごみ袋を導入し、袋を購入することでごみ収集手数料も含まれるようにする
- ・リサイクル品の戸別収集

◆設問 3

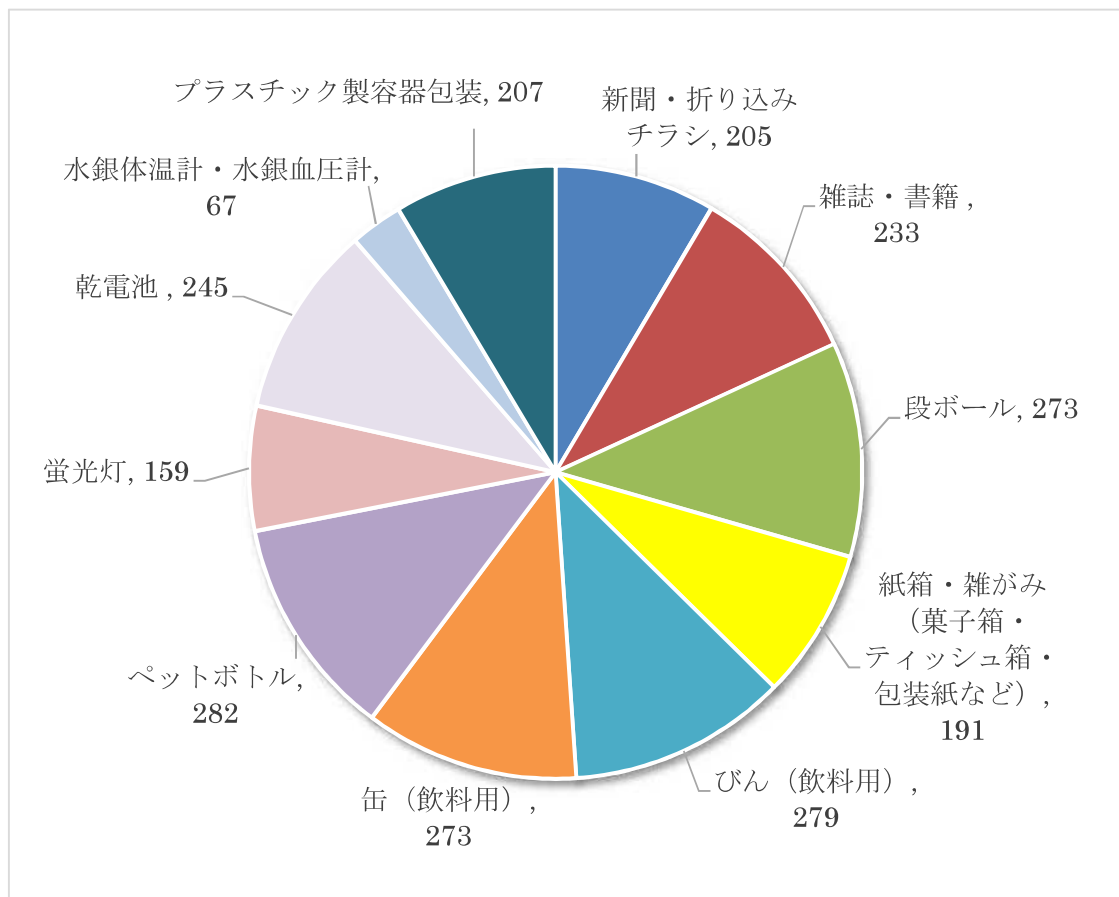
ごみの減量化に効果があると言われる、「家庭ごみの有料化」についてどう思いますか。



ごみの減量化に効果があると言われる、「家庭ごみの有料化」についてどう思うか聞いたところ、「ごみの種類によっては実施しても良い（燃やすごみは有料、資源は無料など）」・「実施すべきではない」86人、「どちらかといえば、実施すべきではない」62人、「どちらともいえない」38人という結果になりました。

◆設問 4

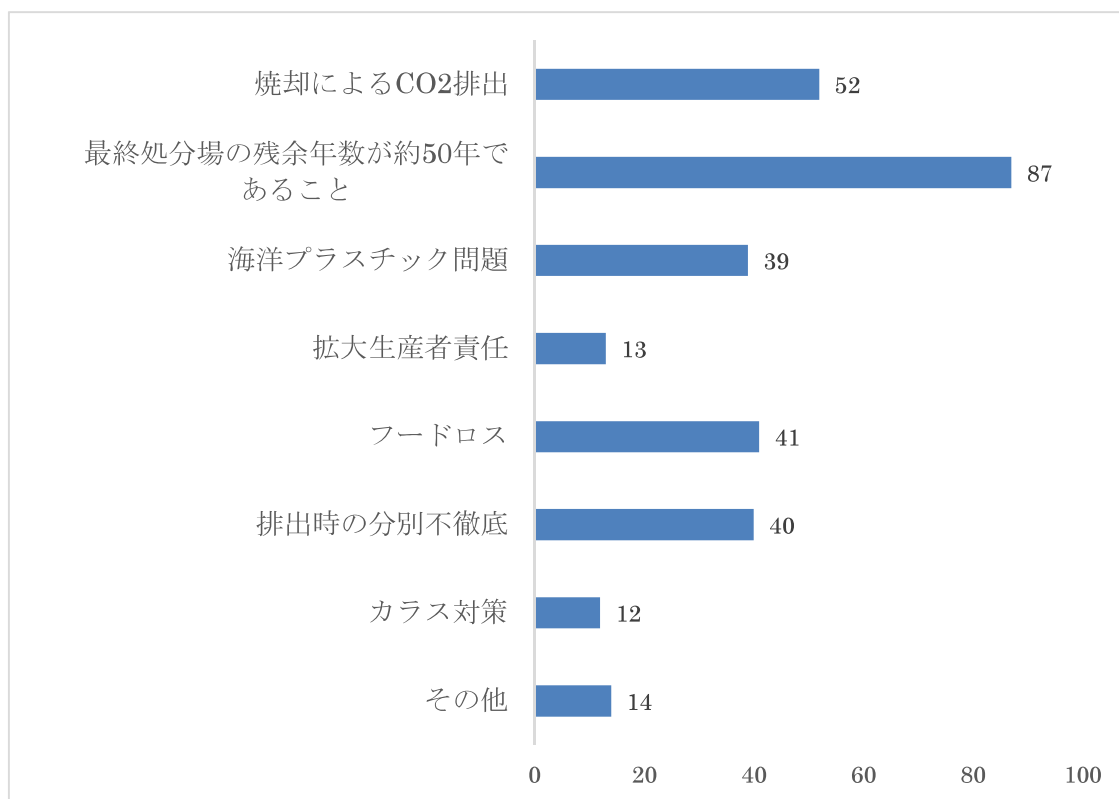
以下のうち、資源として排出している品目をおしえてください。(複数回答可)



資源として排出している品目を聞いたところ、とくに多かったのが「ペットボトル」282人、「びん (飲料用)」279人、「段ボール」・「缶 (飲料用)」273人、「乾電池」245人という結果になりました。

◆設問 5

以下のうち、清掃・リサイクル事業で最も大きな課題だと思うことは何かおしえてください。



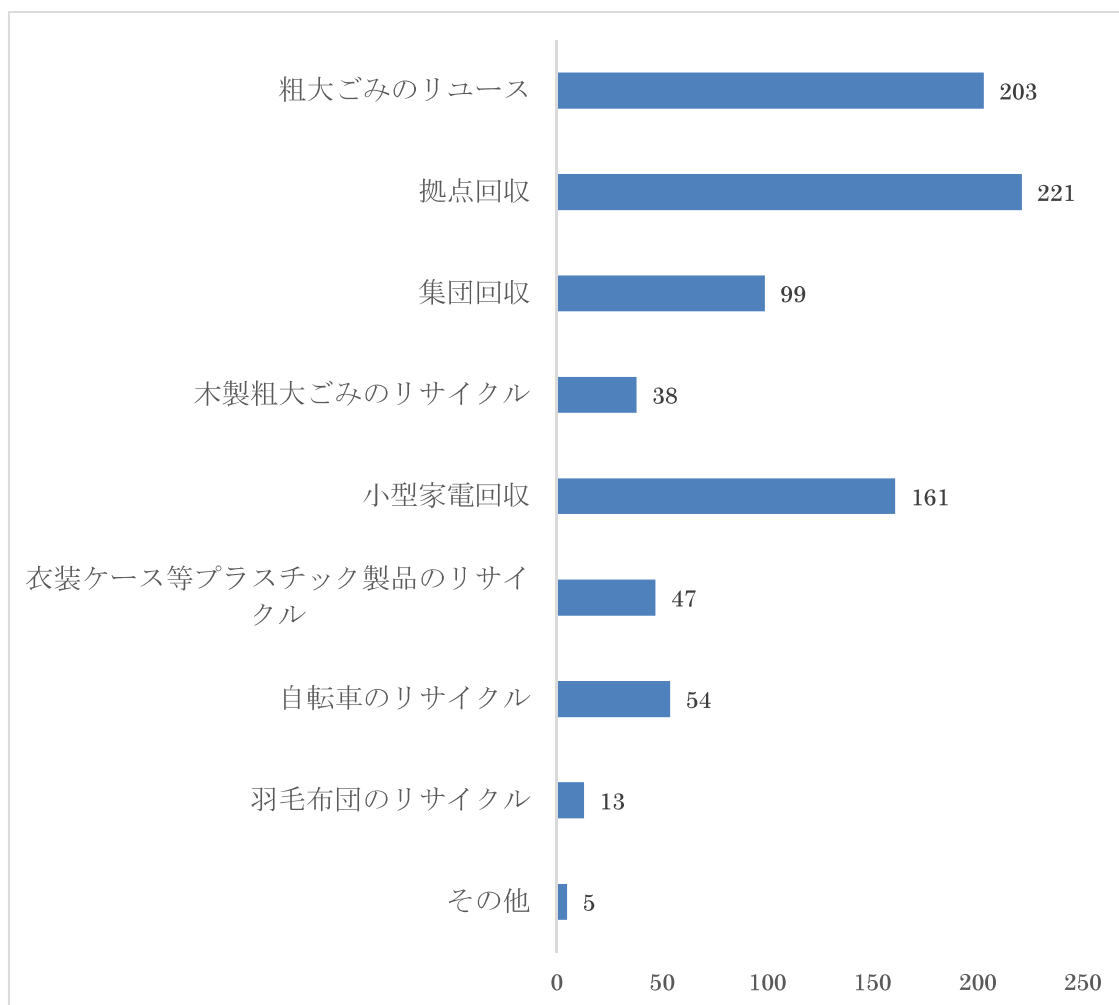
清掃・リサイクル事業で最も大きな課題だと思うことは何か聞いたところ、とくに多かったのが「最終処分場の残余年数が約 50 年であること」87 人、「焼却による CO2 排出」52 人、「フードロス」41 人、「排出時の分別不徹底」40 人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

- ・現状について、区から市民への説明および啓蒙活動
- ・ごみの減量
- ・前日の夜中に段ボールなど大量に出す人もいます。色々変える前に区をあげてのゴミ出しルールの再周知をしていただきたい

◆設問 6

区で行っているリサイクル事業について、知っているものをおしえてください。
(複数回答可)



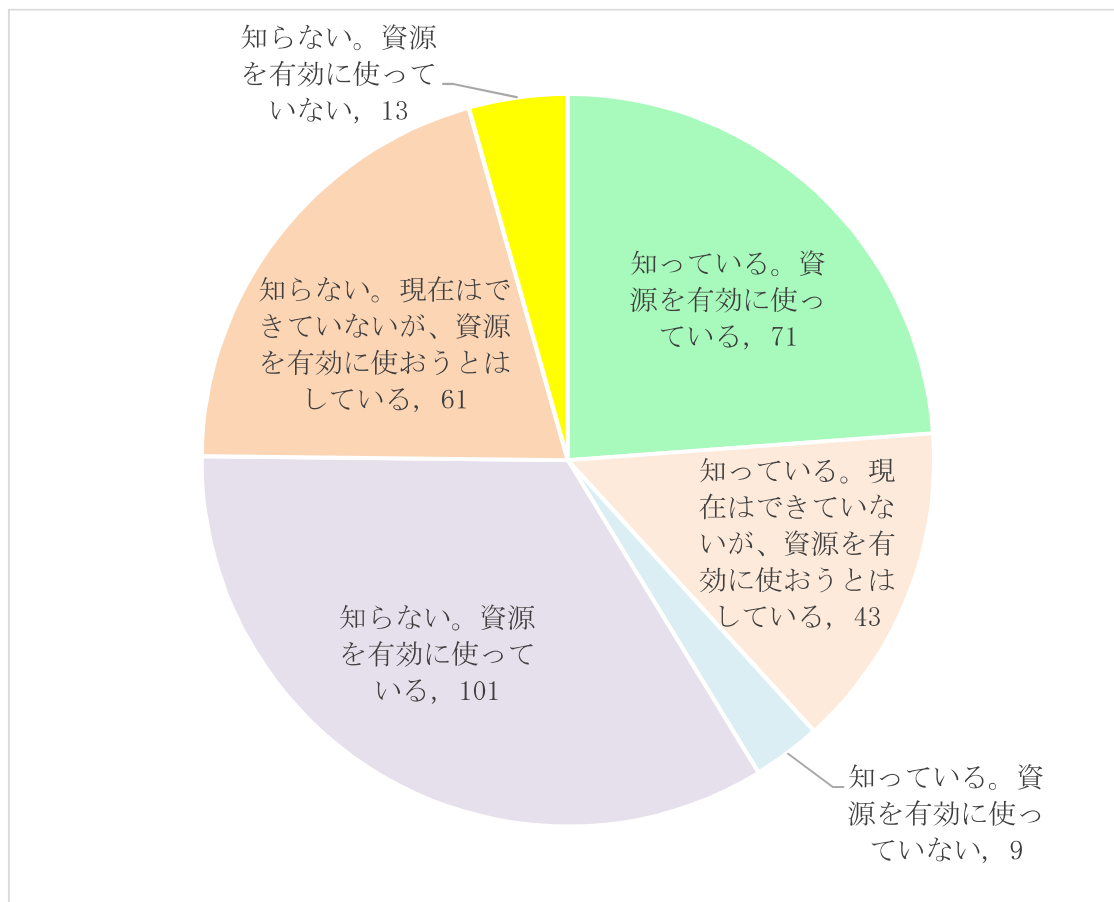
区で行っているリサイクル事業について、知っているものを聞いたところ、とくに多かったのが「拠点回収」221人、「粗大ごみのリユース」203人、「小型家電回収」161人、「集団回収」99人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

- ・知らない
- ・よく分からない

◆設問 7

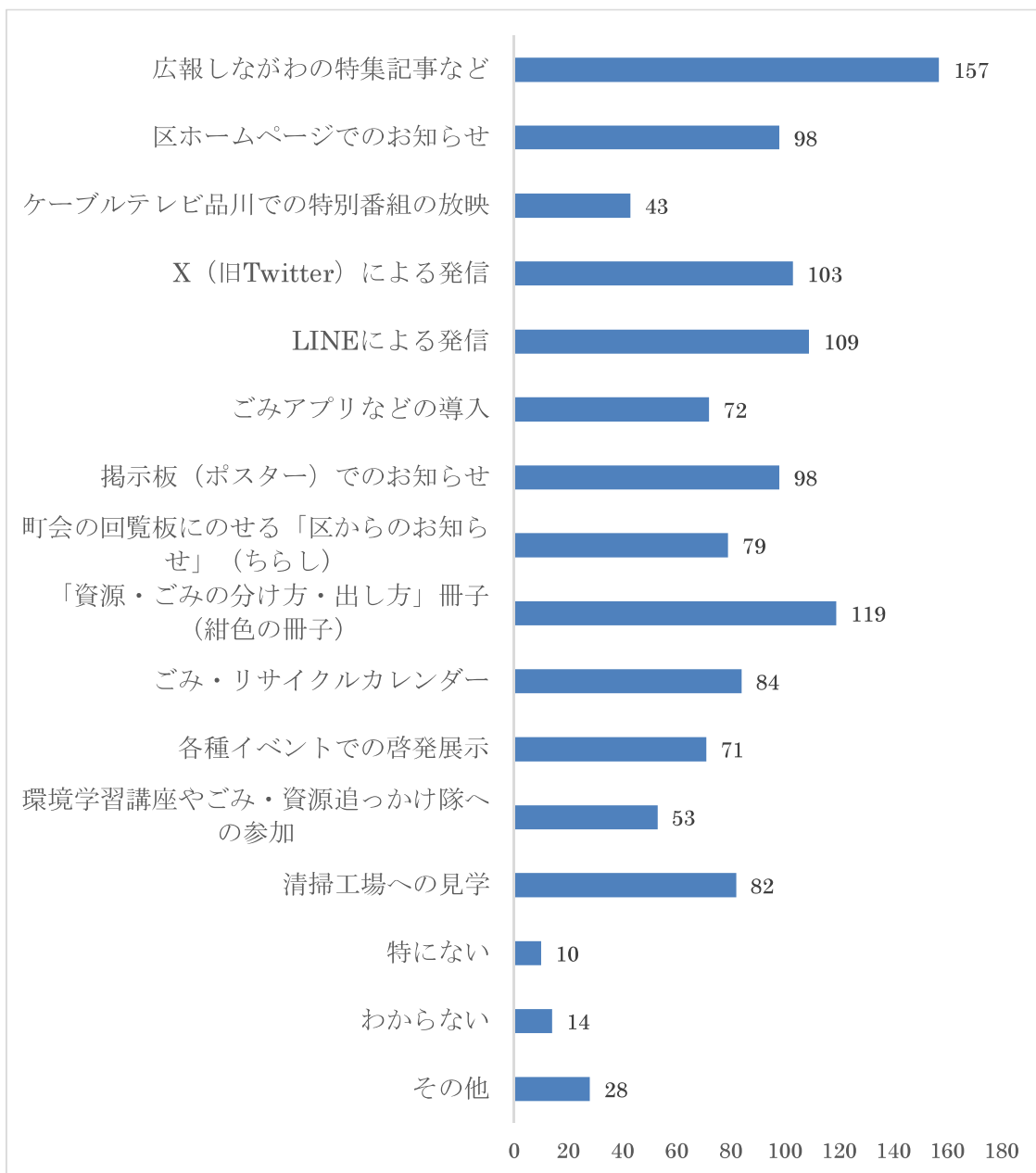
東京都のごみの埋立最終処分場である中央防波堤埋立処分場は、おおむね 50 年で満杯となり、その後、新たな処分場を設置することは困難と言われています。そこで、資源を有効に使うなど、廃棄物の減量やリサイクルを推進することによって、少しでも埋立最終処分場を延命させるよう行政が取り組んでいるのを知っていますか。また、資源を有効に使っていますか。



資源を有効に使うなど、廃棄物の減量やリサイクルを推進することによって、少しでも埋立最終処分場を延命させるよう行政が取り組んでいるのを知っているか、また、資源を有効に使っているか聞いたところ、とくに多かったのが「知らない。資源を有効に使っている」101人、「知っている。資源を有効に使っている」71人、「知らない。現在ではできないが、資源を有効に使おうとはしている」61人、「知っている。現在ではできないが、資源を有効に使おうとはしている」43人という結果になりました。

◆設問 8

ごみの減量化には区民の皆さんの協力が不可欠ですが、区が行っている普及活動で効果があるものは何かおしえてください。

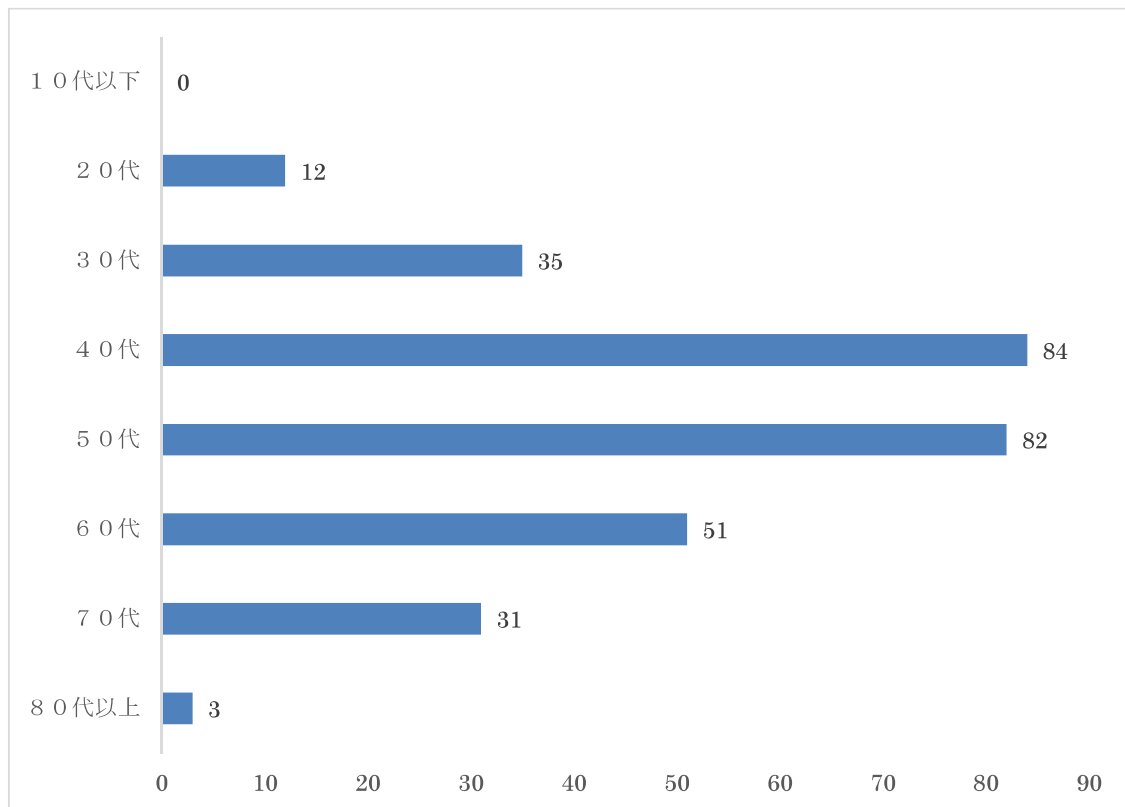


区が行っている普及活動で効果があるものは何か聞いたところ、とくに多かったのが「広報しながわの特集記事など」157人、「資源・ごみの分け方・出し方」冊子 (紺色の冊子) 119人、「LINEによる発信」109人、「X (旧Twitter) による発信」103人という結果になりました。

「その他」意見 (抜粋)

- ・ 本当にゴミ量が増えているのかデータ分析と結果を区民に開示
- ・ ゴミの出し方具体例の YouTube 動画 (区民から、ゴミの出し方の質問を受け付けて解説など)
- ・ 罰則 (罰則金の徴収) の早期実施

◆ F 1 回答者の年齢



～ご協力ありがとうございました～